

一超高齢社会におけるIODの重要性と効率的な作成方法一

皆様はご存知でしょうか？今後40年後に渡り、毎年高齢化率が上昇していく現実を、そして、40年後の我が国は2.5人に1人が高齢者となっている状況をおそらく40年後、歯科医師をされている先生方はほとんど皆無でしょう、演者も生きていれば83歳です。2060年に現在の医療システム、保険制度が存続していると考えたほうが無理がありますし、厚生労働省から強烈なメッセージが発信されております。その中で、フレイル、プレフレイルに陥った患者をいかにsalvageできるか？現在の医療界は試されております。では、歯科からなのができるのか、何をすべきなのか、各専門分野から知恵を絞らなくてはなりません。

演者は地域柄、高齢者を拝見する機会が多く、フレイル・プレフレイルに陥ったであろう患者と接する機会も多くございます。そこにImplant Over Denture (IOD)という選択肢は大きな福音をもたらす治療法であると感じております。しかし、IODについてその守備範囲を超えた適応や、IODの注意点を軽視した結果、うまくいかない症例も散見されます。例えば、オトガイ孔間(側切歯部位)に2本のインプラントを用いてIODを行いましょ。といった文言を耳にされたことはないでしょうか？どこで聞いたかわからないが、ごく当たり前とお考えの事項が実はエラーの根源となることも多くございます。

本講演では、IODの診断基準の一つである、Zoning理論を解説し、また、IODの守備範囲を明確にしたうえで、演者の臨床例を通じて明日からの臨床に役立てていただけるような情報を提示いたします。皆様のご参加お待ちしております。

記

日 時: 19年3月3日(日) am9:30~pm12:30

講 師: 新名主 耕平 先生(東京都 開業)

座 長: 助川信太郎先生 (県立中央病院歯科口腔外科医長)

会 場: ホテルマリンパレスさぬき 2階

(高松市福岡町2-34 無料駐車場有)

参加費: 会員 3,000円 会員のスタッフ 1,000円

未入会 10,000円

(他県の保険医協会の会員の先生も会員価格です)

定 員: 50名(先着順)

※参加費振込先 百十四銀行 本店営業部 普通
0595754 香川県保険医協会 会計 梶義照



経歴

鹿児島県出身
2003年 九州歯科大学卒業
2007年 同大学 大学院歯学研究科卒業 口腔
外科学専攻 (管野貴浩先生と同じ講座です)
2007年~2009年 九州歯科大学形態機能再
建学講座 助教
2009年~医療法人社団愛泉会たんぽぽ歯科ク
リニック 理事

資格

日本口腔インプラント学会認定専門医
日本口腔外科学会 認定医

2019年3月3日(日)歯科セミナー申込用紙

お申込みは香川県保険医協会へfaxください fax 087-802-1336

医院名	ご氏名	
ご住所	TEL	fax